

令和8年度「専門領域薬剤師養成研究会」開催にあたって

一般社団法人東京都病院薬剤師会
会 長 後藤 一美

インフルエンザ感染症が猛威を振るう中、インバウンドも含め社会活動は一段と活発化している状況にありますが、会員の皆様のご施設においては未だ感染対策と医薬品の供給障害に苦慮されていることと拝察いたします。

令和8年度「専門領域薬剤師養成研究会」の開催様式については、令和7年度に引き続き感染対策に配慮した上でWeb形式の講習会や対面でのグループワークなどプログラムの内容に応じて研修効果の高い様式で開催することといたしました。

タスクシフト・シェアが進展する上でもチーム医療に参画され薬剤師職能を十分に発揮いただくためには、高度の知識・技術・技能に加え医療人としての倫理観や適切な態度が求められております。

これらの高い社会的要求に応えるべく当会専門薬剤師養成部では、11領域の委員会によって通年の研修プログラムを企画し運営して参ります。

会員の皆様の日頃の研鑽に加えて、本研究会への参加を通じて更なる専門性を培っていただき、各領域の医療現場において薬物療法の最適化に活躍されることを支援したいと考えております。

是非、本研究会へのご参加を心よりお待ちしております。

- | | | |
|------------------|------------|------------------------|
| 1. がん領域 | (委員長 清水 久範 | がん研究会有明病院) |
| 2. 褥瘡領域 | (委員長 関根 祐介 | 東京医科大学病院) |
| 3. 輸液・栄養領域 | (委員長 高坂 聡 | 東京医科大学八王子医療センター) |
| 4. 糖尿病領域 | (委員長 井上 岳 | 北里大学北里研究所病院) |
| 5. 緩和医療領域 | (委員長 伊東 俊雅 | 東京女子医科大学附属足立医療センター) |
| 6. 抗菌化学療法・感染制御領域 | (委員長 田中 昌代 | NTT 東日本関東病院) |
| 7. 精神科領域 | (委員長 永井 努 | 昭和医科大学烏山病院) |
| 8. 妊婦・授乳婦領域 | (委員長 刈込 博 | 聖カタリナ病院) |
| 9. 臨床研究領域 | (委員長 渡部 歌織 | 東京大学医学部附属病院臨床研究推進センター) |
| 10. 高齢者領域 | (委員長 金内 幸子 | 練馬総合病院) |
| 11. 臨床推論領域 | (委員長 添田 博 | 東京医科大学病院) |

がん領域は、アドバンスクラスを設け、より高度な専門領域の知識や技術を学ぶための研究会も行われます。

いずれの研究会も、遅刻、早退をすることなく、1年間継続して全ての日程を修了された方に修了証を交付いたします。

専門領域研究会へ参加され、チーム医療の中で求められるより高い臨床能力とコミュニケーションスキルを体得され、その成果を各施設の臨床業務において発揮されることを期待しています。

なお、研究会の開催日程及び内容、参加資格、参加費、募集人員、申し込み方法等につきましては、注意事項（全領域共通）ならびに参加希望の研究会案内をご確認ください。

令和 8 年度専門領域薬剤師養成研究会の注意事項

申込み方法	当会ホームページからお申込みください。
受付期間	<u>3月16日(月) 10:00 ~ 4月8日(水) 正午</u>
申込みの 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・令和 8 年度の研究会は、非会員も申込可能ですが、各領域とも定員を超えた場合は、東京都病院薬剤師会会員を優先とします。 ・令和 8 年度の研究会は、領域毎に Web 開催又は対面開催と開催方法が異なります。詳細は各領域の募集要項でご確認ください。 ・各領域の参加資格をご確認の上、お申込みください。 ・申込みは、1人につき1研究会のみとしますが、第 2 希望まで選択可能です。 ・受付期間内であれば再申込みも可能ですが、再申込みの場合は、必ず申込みフォームの備考欄に、申込み済みの研究会名を記載してください。記載がない場合は、重複申込みとみなし、申込みを無効といたします。 ・施設内で受講者の優先順位がある場合は、申込みページの該当欄に入力してください。 ・研究会参加までに異動の予定がある方は、備考欄に異動後の勤務先、異動予定日を入力してください。
メールアドレス について	<ul style="list-style-type: none"> ・申込時に入力するメールアドレスは、受講可否のご連絡ならびに受講決定となった場合の事前資料の送付・研究会への接続 URL 連絡等に利用するため、「個人で確実に受信できるパソコンのメールアドレス」を入力してください。携帯電話のメールアドレスをご使用の場合、メールが届かない場合があります。また、ドメイン指定等されている場合は「@thpa.or.jp」ドメインメールを受信できるよう、事前設定をお願い致します。
申込みが 【無効】に なる場合	<ul style="list-style-type: none"> ・1人2研究会以上 (別途申し込みを受付ける公開講座等を除く) の申込みを確認した場合 ・入力内容に不備があった場合 ・参加資格に相違があった場合 ・令和 7 年度開催の研究会で、参加費未納や無断欠席が数回あった場合
受講者の 決定	<ul style="list-style-type: none"> ・各領域とも定員を超えた場合は、東京都病院薬剤師会会員を優先とし、抽選で受講者を決定いたします。(先着順ではありません。) ・受講者は、原則として1施設2名までとしますが、応募者多数の研究会では1施設1名とすることがあります。 ・受講者決定後の受講者変更は認めません。

<p>受講可否の お知らせ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>4月20日（月）までにメールでご連絡いたします。</u> （メールを送信しましたら、ホームページの「お知らせ」にてご案内いたします。） ・ 受講決定者のメールには、参加費振込先を記載しておりますので、期日までに参加費をお振込みください。<u>※参加費の振込用紙は発送いたしません。</u> ・ 受講可否についてのお問い合わせには、一切お答えできませんのでご了承ください。
<p>受講時の 注意事項</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>Web 配信での研究会</u>では、なりすまし防止と無断聴講防止のため、<u>カメラ付きパソコンでの受講を原則</u>とします。カメラ付きパソコンが準備できない場合は、申込時にその旨お申し出ください。また、Web 配信された内容の再配信には対応いたしません。 ・ <u>対面式での研究会</u>では、特別講演の聴講中は、必ずしもマスク着用を求めませんが、<u>グループワーク実施中は、マスク着用を推奨します。</u> ・ 「研究会参加について、所属長の下承が得られており、全ての回に出席できる」という参加資格を確認の上、受講を決定しておりますので、業務都合による欠席は極力お控えください。 ・ <u>販売情報提供ガイドライン等の施行に伴い、製薬企業との共催で開催する研究会において、研修内容によってはハンドアウトの配布ができない場合がありますので、ご了承ください。</u>
<p>認定単位 について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 修了証は全回出席者のみに配布いたします。遅刻、早退は欠席扱いといたします。 ・ Web 配信の研究会では、研修単位認定のため、受講者のログイン・ログアウトタイムを管理いたします。規定の時間に満たない場合、単位認定はできません。 ・ 令和6年度より日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システム（HOPESS）から各自で単位を確認することとなります。 ・ HOPESS は、日本病院薬剤師会会員管理システム（シクミネット）の「薬剤師名簿登録番号」で紐づけされます。研究会開催までに、会員管理システムマイページにログインして、メールアドレスと薬剤師名簿登録番号を登録してください。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程が決まっていない研究会で、申込期間中に確定した場合は、随時お知らせいたします。記載がない場合、お問い合わせいただいてもお答えできません。

問合せ先：一般社団法人 東京都病院薬剤師会

TEL : 03-3499-3388 MAIL : info@thpa.or.jp (対応時間…平日 10:00～16:00)

がん薬物療法専門薬剤師養成研究会

がん薬物療法専門薬剤師養成小委員会

委員長 清水 久範

令和8年度のがん薬物療法専門薬剤師養成研究会は、「Basic Class」と「Advanced Class」を設置します。

<p>目的</p>	<p>◆ Basic Class 主要がん種のがん薬物療法の基礎を学びます。講義と課題症例に対するワークショップを通して、がん化学療法の標準療法と薬剤師の介入ポイントを理解するとともに、問題解決型学習を身に付けることを目的とする。</p> <p>◆ Advanced Class 本クラスは、東京都病院薬剤師会がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class を受講された会員、またはがん専門薬剤師・がん薬物療法認定薬剤師資格取得者を対象に、複雑な臨床状況にある患者への薬学的介入や全身管理など、実務で求められる高度な判断力をディスカッション形式でやしなうことを目的とする。</p>																				
<p>参加資格</p>	<p>◆ Basic Class, Advanced Class 共通</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の正会員で病院・診療所勤務者であること 2) 東京都病院薬剤師会非会員の病院・診療所勤務者（定員：正会員が優先です） 3) 参加について所属長の了承を得られ、全ての回に出席できる方 4) 現在がん領域に関する業務を実践しているか、または予定している方 <p>※初回受講希望者を優先とし、修了者の再受講も認めます。</p> <p>◆ Advanced Class 下記のいずれかに該当する方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本医療薬学会、日本病院薬剤師会、および日本臨床腫瘍薬学会が認定する【がん領域】に係る資格取得者 ・東京都病院薬剤師会「がん薬物療法専門薬剤師養成研究会 Basic Class」を受講済の方 																				
<p>募集人数</p>	<p>◆ Basic Class …… 42名 ◆ Advanced Class … 20名</p>																				
<p>研究会の 主な内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義研修 ……Basic、Advanced 共通で行う 2. グループワーク…Basic、Advanced に分かれて課題症例の検討を行う 3. 確認試験 ……出席確認テストを実施する 																				
<p>今年度の 予定</p>	<p>【年間スケジュール】※講師等の都合により日程が変更される場合があります</p> <table border="1" data-bbox="371 1592 1481 1910"> <tr> <td>第1回</td> <td>R 8.6.6(土) 予定</td> <td>14:00~17:00</td> <td>テーマ：支持療法</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>R 8.7.18(土) 予定</td> <td>14:00~18:20</td> <td>テーマ：消化器がん</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>R 8.9.5(土) 予定</td> <td>14:00~18:20</td> <td>テーマ：肺がん</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>R 8.11.7(土) 予定</td> <td>14:00~18:20</td> <td>テーマ：乳がん</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>R 9.2.6(土) 予定</td> <td>14:00~18:20</td> <td>テーマ：血液がん</td> </tr> </table> <p>【現地開催】対面式です（基本、がん研究会有明病院で実施致します）</p> <p>★公開講座を行う場合があります（参加費徴収は別で実施）</p>	第1回	R 8.6.6(土) 予定	14:00~17:00	テーマ：支持療法	第2回	R 8.7.18(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：消化器がん	第3回	R 8.9.5(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：肺がん	第4回	R 8.11.7(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：乳がん	第5回	R 9.2.6(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：血液がん
第1回	R 8.6.6(土) 予定	14:00~17:00	テーマ：支持療法																		
第2回	R 8.7.18(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：消化器がん																		
第3回	R 8.9.5(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：肺がん																		
第4回	R 8.11.7(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：乳がん																		
第5回	R 9.2.6(土) 予定	14:00~18:20	テーマ：血液がん																		
<p>参加費</p>	<p>東京都病院薬剤師会会員 10,000円、非会員 20,000円（全5回分）</p>																				
<p>出席確認</p>	<p>会場での入退室管理+確認試験</p>																				

褥瘡領域薬剤師養成研究会

褥瘡領域薬剤師養成小委員会
委員長 関根 祐介

目的	<p>褥瘡における基礎を学び、事例を交えた検討により、臨床応用できる知識の修得を目指す。 ○皮膚の構造を理解した上で褥瘡を学び、栄養やポジショニングなど多角的観点で褥瘡治療を考える。体圧分散寝具、褥瘡モデルを用いた実習など、実践に応用できる研修会を構成。 ○症例検討では最適な褥瘡治療を考える。 ○薬剤師としての専門性を活かした褥瘡への関わりを考える機会とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 褥瘡の病態、ケアや治療の基礎を学び、褥瘡についての知識を深める 2) 多職種が関わる褥瘡治療において、薬剤師の役割を考える 3) 施設間で褥瘡への関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする 4) 事例検討を通し、症例から学び取る力を養う 5) 実習から、褥瘡への実践力を身につける 			
参加資格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、予定された研究会全てに必ず参加できる方 ※一度受講された方でも再受講可ですが、定員を超えた場合は初回の方を優先します。 			
募集人数	50名（基礎編＋実践編）			
研究会の 主な内容	<p>○講義形式：1) 皮膚の構造、褥瘡・創傷治癒の仕組み 2) 褥瘡評価（DESIGN-R2020 ツールを用いて） 3) 褥瘡の予防と栄養、栄養剤の選択 4) ドレッシング材について、薬剤について 5) 褥瘡の病態と治療について 6) 体圧分散（マットレスの種類・選択基準、ポジショニング）</p> <p>○症例検討：事例から褥瘡予防・治療を考える</p> <p>○実習：1) 体圧分散・ポジショニング（基礎編 第4回） 2) 褥瘡処置の実際・外用薬の基礎・ガーゼや被覆材の使い方（実践編）</p>			
今年度の 予定	<p>★開催日は土曜日の午後を予定しております。状況により日程変更する場合があります。 基礎編 第4回、実践編 は現地開催の予定です。 基礎編 第1回～第3回は公開講座として、各回の参加が可能です。 実践編のみの参加も後日別途募集します。</p>			
		予定時間・場所	内容	
	基礎編	第1回 (6/6)	15:00～18:30 Web	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：「皮膚の構造・創傷治癒のしくみ」 ・講義：「外用剤・ドレッシング材の基礎」 ・講義：「褥瘡チームの活動紹介」（1～4回）
	基礎編	第2回 (7/18)	15:00～18:30 Web	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：「褥瘡状態の評価法（DESIGN-R2020）」 ・講義：「創傷の状態に見合ったドレッシング材の選択」 <p>○症例検討 —DESIGN-R2020 をつける—</p>
	基礎編	第3回 (9/26)	15:00～18:30 Web	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：「褥瘡と栄養」 ・講義：「経腸栄養剤の種類と選択」 <p>○症例検討—外用薬の選択—</p>
基礎編	第4回 (1/16)	15:00～18:30 パラマウントベ ッド東京本社	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：「体圧分散寝具とポジショニング」 ・シンポジウム「褥瘡チームにおける薬剤師の役割」 <p>○実習：体圧分散寝具とポジショニング</p>	
実践編	第1回 (11/14)	15:00～18:30 星薬科大学	<ul style="list-style-type: none"> ・講義：「褥瘡の病態と治療」 <p>○実習：外用薬の基礎と褥瘡処置方法</p>	

参加費	(基礎編+実践編) 東京都病院薬剤師会会員 10,000 円、非会員 20,000 円 (5 回分)
出席確認	Web…入退室のログ+確認試験/現地…会場での入退室管理+確認試験
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公開講座は別途募集します (定員各回最大 30 名)。 ・ 実践編のみは別途募集します (定員 20 名)。 ・ 基礎編+実践編、実践編のみに参加された方には、日本褥瘡学会 褥瘡・創傷専門薬剤師の認定単位が取得可能です。(予定) ・ 実践編のみの参加者ならびに公開講座の方には修了証の交付はございません。 ・ 欠席された回の資料、認定単位等はお渡しできませんので、ご了承ください。

輸液・栄養領域薬剤師養成研究会 (水電解質異常から栄養管理まで)

輸液・栄養領域薬剤師養成小委員会
委員長 高坂 聡

目的	輸液・栄養療法に関する全般的な専門知識を習得し、医療チームの一員として適正かつ有効な輸液・栄養療法を支援できる基礎能力を育成する。			
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方 4) 現在、輸液・栄養領域に関する業務を実施しているか、または予定している方			
募集人数	42名			
研究会の 主な内容 ・ 今年度の 予定	開催日		内容	方法
	第1回	R8. 6. 27 (土)	オリエンテーション 水・電解質異常の講義（委員） 水・電解質異常症例検討	(テスト)・講義・ 検討
	第2回	R8. 7. 25 (土)	水・電解質異常の症例 発表（各グループ） 水・電解質異常の解説および講義（講義：医師） 酸・塩基平衡異常の講義（委員） 酸・塩基平衡異常の症例検討	(テスト)・発表・ 解説・検討
	第3回	R8. 9. 5 (土)	酸・塩基平衡異常の症例 発表（各グループ） 酸・塩基平衡異常の解説及び講義（講義：医師） 栄養改善の講義（委員） 栄養改善の症例検討	(テスト)・発表・ 解説・検討
	第4回	R8. 10. 3 (土)	栄養改善の症例 発表（各グループ） 栄養改善の解説（講義：医師）	(テスト)・発表・ 解説・検討
	【開催時間】 第1回 14：00～16：30 第2・3回目 14：00～17：30 第4回 14：00～16：00 【開催方法】 第1回 集合研修（会場：AP 西新宿） 第2～4回 Web での開催 【開催回数】 4回／年 ※講師などの都合により日程が変更する場合があります。			
参加費	東京都病院薬剤師会会員 7,000円、非会員 13,500円（4回分）※修了証郵送料込み			
受講確認	入退室のログ+確認試験			
その他	・欠席時の資料は再配布しません。請求されてもお渡ししません。 ・特別講演会を開催予定です。			

糖尿病領域薬剤師養成研究会

糖尿病領域薬剤師養成小委員会

委員長 井上 岳

厚生労働省の「2016年 国民健康・栄養調査結果」の推計では、国内の成人男女のうち糖尿病が強く疑われる者（糖尿病有病者）は約1,000万人で過去最多となっております。また、糖尿病の可能性を否定できない者（糖尿病予備軍）も約1,000万人とされ、合わせて約2,000万人もの耐糖能異常者が存在すると報告されています。1997年の調査開始以降、2007年の約2,210万人から減少傾向を示していますが、依然として高い数値で推移しています。また、糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）の2024年度基礎集計資料によると、2型糖尿病患者の平均HbA1cの年次推移は低下傾向にありましたが、2014年より若干上昇し、2024年では7.06%となっております。

近年、糖尿病の薬物療法は、経口糖尿病薬、インスリン製剤およびGLP-1受容体作動薬など多岐にわたります。また、日本糖尿病学会より、2020年5月にインスリン非依存状態である2型糖尿病患者の治療が改訂され、初めて第一選択薬として「低血糖のリスクの少ない経口血糖降下薬療法を選択する」と明記されました。その後2022年9月には「2型糖尿病の薬物療法のアルゴリズム」が発表され、2023年11月には改訂（第2版）されています。このような新薬の登場や既存の治療薬・治療法におけるエビデンスの蓄積とともに、糖尿病診療ガイドラインや治療指針は変遷しています。一方、通院加療中の糖尿病患者は、定期的な受診や服薬のみならず生活習慣を改善する厳格な自己管理が求められており、患者さん自身が治療法を十分理解し、日々の生活の中で実行していく必要があります。

このような中、日常診療の中で糖尿病患者さんに係わる薬剤師は、食事療法や運動療法など患者の生活習慣について知った上で患者指導する必要性があります。現在、日本糖尿病療養指導士認定機構が2001年より認定している日本糖尿病療養指導士（Certified Diabetes Educator of Japan：CDEJ）があります。CDEJとは、糖尿病治療にもっとも大切な自己管理（療養）を患者に指導する医療スタッフのことであり、2025年6月2日現在、17,597名が認定されており、うち薬剤師は2,770名（15.7%）と、5職種の中で看護師、管理栄養士の次に多い職種です。また日本くすりと糖尿病学会が2016年より認定薬剤師制度が開始され、2019年度には薬剤師認定制度認証機構により認証された特定領域認定制度（P06）となり、2025年4月1日現在175名の糖尿病薬物療法認定薬剤師が認定されています。

本研究会では、将来CDEJや糖尿病薬物療法認定薬剤師の認定試験受験を希望される方、再度知識を確認されたい方、糖尿病患者さんへのかかわりが多い薬剤師を対象に、糖尿病療養指導に必要な基本知識を習得することができるよう研究会の構成を考えております。糖尿病患者さんへの療養指導こそが糖尿病の治療そのものであるとの立場から、糖尿病セルフケアをサポートしていける薬剤師の育成を目指しています。ご興味のある方、是非ご参加をお待ちしております。

[次ページにつづく](#)

目的	1) 糖尿病の病態および治療の基礎について習得する 2) 糖尿病患者の心理と行動の基礎知識を習得する 3) 糖尿病の食事療法の基礎知識を習得する 4) 糖尿病薬治療薬の適正使用について習得する 5) インスリン療法および自己注射手技を習得する			
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、予定している研究会に全て参加できる方 4) 現在糖尿病領域に関する業務を実践しているか、または予定している方 5) 一度受講されてから2年以内の方は申し込みできません ※なお、申し込み多数の場合、未受講者を優先いたします			
募集人数	48名			
研究会の 主な内容	1) 最新の糖尿療養指導に関する講義 2) 症例検討（グループディスカッション） 3) インスリン注射および自己血糖測定の手技指導（第6回のみ） 4) 確認テスト 5) その他			
今年度の 予定	【開催時間】 第1, 3, 5, 6回：14:00～18:00 第2回：15:30～18:30 第4回：14:30～18:30 【開催場所】 ・北里大学薬学部1号館4階1401・1402多目的室（港区白金5-9-1） ※（会議室は、変更される場合がありますが事前にお知らせいたします）			
		開催日	講演内容	講師
	第1回	R8. 6. 20（土）	糖尿病の病態と治療	医師
	第2回	R8. 8. 1（土）	糖尿病患者の心理と行動	医師
	第3回	R8. 9. 12（土）	食事療法の基本	管理栄養士
	第4回	R8. 10. 17（土）	薬物療法1 （経口糖尿病薬とインクレチン製剤）	医師
	第5回	R8. 11. 28（土）	薬物療法2 （インスリンとCSII・AID療法）	医師
	第6回	R8. 12. 19（土）	SMBG およびインスリン手技指導体験	薬剤師
開催場所、日程につきましては、変更する場合があります。ご容赦ください。 変更がある場合、前の回の開催日までにご連絡させていただきます。				
【参考図書】 受講時に以下の書籍を持参してください。 糖尿病治療ガイド2024（編著：日本糖尿病学会）：文光堂				
参加費	東京都病院薬剤師会会員 10,000円、非会員 20,000円（6回分）			
受講確認	会場での入退室管理＋確認テスト			
その他	*公開講座については、令和8年5月30日（土）午後に、Web開催予定です。 詳細が決まり次第ご案内いたします。			

緩和医療領域薬剤師養成研究会

緩和医療領域薬剤師養成小委員会
委員長 伊東 俊雅

本研究会では、積極的な認定薬剤師の育成に力を入れるべく、本年度も Hybrid にて公開講座＋養成研究会を開催いたします。この研究会は、緩和医療専門薬剤師の認定を見据えたものですが、実践力のある薬剤師を認定することを大きな目的の一つに掲げていますので、本研究会はその登竜門として最適の研究会であると考えます。また、緩和医療を取り巻く薬剤師の置かれる立場はさらなる知識・技能・態度を求められるようになりましたが、ボトムアップをさらにすそ野をひろげることを目的に「Basic Class」開催とし、緩和薬物療法に係る薬剤師のスキルアップを目的に「公開講座」を毎回開催して、より多くの方々に緩和医療にかかるエッセンス教育を予定し会員の皆様のご参加をお待ちしております。

目的	緩和医療を必要としている患者さんに積極的にかかわれる知識と実践力を身につける。
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の方の了承を得られ、 <u>予習および予定された講義に参加</u> できる方 4) 初学者、現在緩和ケア領域に興味がある、または緩和ケア領域の業務を予定・実施している方 5) 過去年度に参加の方もご参加いただけます。奮ってご参加ください。
募集人数	40 名
研究会 主内容	・緩和医療専門家による教育講演及び模擬患者を用いた SGD 形式による症例検討・自己評価試験
今年度の 予定	※日程・内容は変更になる可能性があります。正式な日程は第 1 回開催時に連絡する予定です。 全 5 回【開催時間】 13 : 00～18 : 00 第 1 回 6 月 6 日（土） 特別公開教育講座（医療基礎講座）13:00-15:00 SGD オピオイド鎮痛薬の導入 症例① 第 2 回 7 月 25 日（土） 特別公開教育講座（包括的アセスメント）13:00-15:00 SGD 鎮痛薬の評価 症例② 第 3 回 9 月 19 日（土） 特別公開教育講座（がん疼痛薬物療法）13:00-15:00 SGD 症状マネジメント 症例③ 第 4 回 11 月 28 日（土） 特別公開教育講座（緩和ケアコミュニケーション）13:00-15:00 SGD 症状マネジメント 症例④ 第 5 回 R8. 2 月 6 日（土） 特別公開教育講座（緩和薬物療法 総合）13:00-15:00 SGD 症状マネジメント 症例⑤ *各研究会終了時に、研修内容の自己評価・試験を行います。 ◆実地会場：慶應義塾大学会議室または東京女子医科大学附属足立医療センター (詳細は別途ご案内します)

[次頁へつづく](#)

参加費	東京都病院薬剤師会会員 10,000 円、非会員 20,000 円 (5 回分)
受講確認	会場での入退室管理 (Peatix 利用 : 無料) + 確認試験 (Web 試験)
その他	<p>※Basic Class の教育講座を公開講座として、別途募集します。(定員各回最大 200 名) 【開催時間】 13 : 00-15 : 00 Web 開催 ※各回、教育講座ならびに S G D の単回参加者を別途募集します。</p> <p>◆研究会について * SGD では、受講者 6 ~ 8 名のグループを編成し小グループ学習 SGD を行います。</p> <p>◆本研究会留意事項について * 参加された方には、日本緩和医療薬学会認定単位 (学会員のみ) も交付予定といたします。(日本緩和医療薬学会 LMS からの取得となります) * 欠席された回の資料、認定単位等はお渡しできませんので、ご了承ください。 * 講師または開催施設の都合により日程及び開催場所を調整または変更する可能性があります。 * 無断欠席 3 回以上カウントされた場合 次年度の当該施設の本件研究会へのエントリーを御遠慮いただくこともありますので御留意ください。 ※他学会、日病薬の認定薬剤師講座等の必要講座を受講希望される方は、当研究会欠席時の正当理由にはあたりませんのでご注意ください。</p>

抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成研究会

基礎コース・疾患・AMRセミナー

抗菌化学療法・感染制御専門薬剤師養成小委員会

委員長 田中 昌代

2025年度の下半期はインフルエンザが大流行しました。

感染症の流行は社会に大きな影響を与えます。また、耐性菌の出現・蔓延化は、感染症の難治化ばかりでなく医療経済をも圧迫する状況になっています。このような状況の中、感染症領域における薬剤師の活躍が社会的にも医療現場においても期待されています。

政府は2016年にAMR（薬剤耐性）対策アクションプランを策定し2018年の診療報酬改定において、AMR対策の推進、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）の取り組みを加算という報酬で評価しています。そして2023年にはこれまでのAMRに対する取り組みを評価した上で2027年までのさらなる改善点と新たに生じた課題に取り組むためのアクションプラン(2023-2027)の成果指標を掲げています。2024年度の診療報酬では外来における抗菌薬の使用に対して抗菌薬適正使用体制加算が追加されました。

AMR対策には病院における感染制御、つまり感染対策と感染症治療（抗菌薬の適正使用）の両方からのアプローチが必要になります。

今年度の研究会は基礎コース5回、疾患セミナー1回、AMR対策セミナー1回を企画しています。どの研究会も感染制御に取り組む薬剤師に必要な内容となります。基礎コース5回と疾患セミナー1回は現地における集合研修となります。現地集合研修は特別講演にワークショップ、確認テストを組み合わせた参加型形式となります。AMR対策セミナーはWeb講習となります。

講師は感染症治療・感染制御の関連学会等で第一線で活躍されている医師、薬剤師、微生物学等の専門家を予定しており、一部、学会関連の認定・更新の単位が取得できる内容で実施いたします。多くの薬剤師の先生方にご参加いただき、感染制御の知識を学んでいただき感染症領域の新たなネットワークを広げていただければと思います。

参加資格	<p>◆基礎コース(全5回)</p> <ol style="list-style-type: none">1) 東京都病院薬剤師会の会員2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能）3) 参加について所属長の了承を得られ、年5回の研究会に全て参加できる方4) 抗菌化学療法・感染制御領域に従事している、あるいは感染関連の資格取得を目指している方 <p>※第1回の開催場所は東京薬科大学(八王子)になります。その他は新宿近辺の会議室の予定です。</p> <p>◆疾患セミナー(1回)</p> <ol style="list-style-type: none">1) 東京都病院薬剤師会の会員2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能）3) 参加について所属長の了承を得られた方4) 抗菌化学療法について基本的な知識を取得済みの方 <p>◆AMR対策セミナー(1回)</p> <ol style="list-style-type: none">1) 東京都病院薬剤師会の会員2) 東京都病院薬剤師会非会員（保険薬局薬剤師の先生など）
募集人数	<p>◆基礎コース(全5回) 63名</p> <p>◆疾患セミナー(1回) 63名</p> <p>◆AMR対策セミナー(1回) 100名</p>

今年度の 予定 ・ 研究会の 主な内容	◆基礎コース			
	開催日		内容	プログラム
	第1回	R8. 5. 16(土)	正しく知ろう、 感染症にかかわる病原微生物 (グラム染色演習あり)	◎開催時間 13:45~17:45 (第1回のみ 14:30~18:15 予定)
第2回	R8. 7. 25(土)	適切な抗菌薬選択のための 薬剤感受性試験結果の読み方	・ 13:45~14:00 共催企業の学術講演	
第3回	R8. 9. 12(土)	抗菌薬の選択と PK/PD	・ 14:05~15:20 (75分) 特別講演	
第4回	R8. 11. 14 (土)	感染症のアウトブレイク対策	・ 15:20~15:30 確認テスト	
第5回	R9. 1. 23(土)	消毒剤の適正使用と感染制御	・ 15:35~17:45 (130分) ワークショップ(SGL)	
◆疾患セミナー (別途募集)				
開催日		内容	プログラム	
第1回	R8. 10. 17 (土)	整形外科領域感染症	◎開催時間 13:45~17:45 ・ 13:45~14:00 共催企業の学術講演 ・ 14:05~15:35 (90分) 特別講演 ・ 15:35~15:45 確認テスト ・ 15:50~17:45 (115分) ワークショップ (SGL) 他	
◆基礎コース、疾患セミナー共通 (現地参加のみ)				
<ul style="list-style-type: none"> * ワークショップは受講者 6~7 名のグループを編成し小グループ学習 (SGL) を行います。 * Google Form 等を用いて、研修内容の自己評価と出席確認のために確認試験を行います。 * 講師の都合により日程を調整または変更する可能性があります。 * 会場での入退出管理+確認試験にて受講確認を致します。 				
◆AMR対策セミナー (別途募集)				
開催日		内容	プログラム	
第1回	R9. 2. 14 (日) (Web 配信のみ)	皆で取り組もう！AMR対策	◎開催時間 13:30~16:10(予定) ・ 13:30~13:45 共催企業の学術講演 ・ 13:45~14:35 (50分) 講演① ・ 14:40~15:30 (50分) 講演② ・ 15:35~16:10 (35分) ディスカッション	
当日チャットにて質問を受け付けます。出席確認はキーワード提出にて行います。				
参加費	◆基礎コース 東京都病院薬剤師会会員 11,000 円、非会員 21,000 円 (5 回分、グラム染色資材費 1,000 円含む) ◆疾患セミナー、AMRセミナー 東京都病院薬剤師会会員 2,000 円、非会員 4,000 円			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疾患セミナー・AMRセミナーは別途募集します。 ・ 共催会社、講師などの都合により資料が配布できない場合があります。欠席された回の資料はお渡しできませんので、ご了承ください。 ・ 研修内容が抗菌化学療法に関わる場合には、日本化学療法学会抗菌化学療法認定薬剤師の認定単位の取得を予定しています。 ・ 疾患セミナー、AMR 対策セミナーは修了証の交付はありません。 ・ 他専門領域とのコラボ企画のセミナーも開催する予定です。こちらは別途ご案内いたします。 			

精神科専門薬剤師養成研究会

精神科専門薬剤師養成小委員会
委員長 永井 努

近年、多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制が求められております。精神疾患を有した方が地域において自立した社会生活を行うために、薬物治療は非常に重要となってきます。精神科専門薬剤師は、リカバリーを見据えた薬物治療が安全かつ適切に行えるように、薬物治療の専門家としてチーム医療の一員としての活躍が求められています。本研究会では、主な精神疾患の病態から薬物療法、服薬指導について、基礎から応用を含めて、知識とスキルを習得して頂けるよう計画しています。

目的	<p>◆Aコース 講義において主要な精神疾患とその薬物治療、および最新の知見について学ぶ。 ワークショップの症例検討では、薬物療法だけでなく、介入方法等について他施設薬剤師とのディスカッションを通してスキルアップを図る。</p> <p>◆Bコース 講義において主要な精神疾患およびその薬物治療について学ぶ。ワークショップの症例検討において、他施設薬剤師とのディスカッションを通して、薬剤師の介入ポイントを理解する。</p>		
参加資格	<p>◆Aコース、Bコース 共通</p> <p>1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、全ての回に出席できる方</p>		
募集人数	<p>◆Aコース（精神疾患を有する患者に対して服薬指導経験のある薬剤師対象） … 6名 ◆Bコース（これから精神疾患および治療を勉強しようと思っている薬剤師対象） … 30名</p>		
研究会の 主な内容 ・ 今年度の 予定	<p>◆Aコース、Bコース共に同日時開催</p> <p>【開催時間】 14：00～18：30 【開催場所】 桜ヶ丘記念病院</p>		
		開催日	内容
	第1回	6月27日（土）	テーマ 統合失調症
			ワークショップ 症例検討
	第2回	7月11日（土）	テーマ 双極性障害
			ワークショップ 症例検討
	第3回	9月5日（土）	テーマ うつ病
			ワークショップ 症例検討
第4回	10月3日（土）	テーマ 睡眠障害（せん妄含む）（予定）	
		ワークショップ 症例検討	
第5回	11月14日（土）	テーマ 認知症（予定）	
		ワークショップ 症例検討	
参加費	会員 10,000円、非会員 20,000円（5回分）		
受講確認	会場での入退室管理＋確認試験		
その他	講師等の都合により、日程が変更になる場合があります。		

妊婦・授乳婦専門薬剤師養成研究会

妊婦・授乳婦専門薬剤師養成小委員会
委員長 刈込 博

<p>目的</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 妊娠・授乳期の母体の生理的な変化と特性、妊娠週数にあわせた胎児の薬剤感受性に関する知識を習得する。 2) 妊娠・授乳期に使用される医薬品の薬理作用、体内動態、生殖発生毒性に関する知識を習得する。 3) 妊娠中に使用した医薬品の生殖発生毒性の有無の評価に必要な情報評価ができ、この内容に関して医師及び患者とリスクコミュニケーションスキルを習得する。 4) 妊婦・授乳婦との良好なコミュニケーションができ、関連の医師、助産師、看護師と連携して生殖医療に関連した生命倫理に配慮した服薬カウンセリングを行うための知識、技術を習得する。 5) 生殖発生毒性の適切な評価に基づき次世代への健康被害を防止するとともに、過剰な不安から胎児の命が中断されたり、母乳栄養の利点が得られなくなることを無いうように妊婦・授乳婦の薬学的支援を行うための知識、技術を習得する。 																					
<p>参加資格</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、予定された講義に全て参加できる方 																					
<p>募集人数</p>	<p>50名</p>																					
<p>研究会の 主な内容 ・ 今年度 の予定</p>	<p>【開催日時】 平日の 18 : 30 ~ 20 : 30 予定 (Web)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 薬系教育講演 ・ 医系教育講演 ・ 確認テスト <table border="1" data-bbox="338 1245 1501 1800"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>内容 (予定)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>R8年5月25日(月)</td> <td>「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>R8年6月15日(月)</td> <td>「先天異常モニタリング」</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>R8年7月6日(月)</td> <td>「リウマチ合併妊婦の管理」</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>R8年9月28日(月)</td> <td>「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>R8年10月26日(月)</td> <td>「AYA世代の乳癌診療」</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>R8年11月16日(月)</td> <td>「新生児の生理的特徴と母乳栄養」</td> </tr> </tbody> </table> <p>【開催回数】 6回/年 ※講師の都合により、日程、講義内容に変更が生じる可能性があります。</p>		開催日	内容 (予定)	第1回	R8年5月25日(月)	「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」	第2回	R8年6月15日(月)	「先天異常モニタリング」	第3回	R8年7月6日(月)	「リウマチ合併妊婦の管理」	第4回	R8年9月28日(月)	「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」	第5回	R8年10月26日(月)	「AYA世代の乳癌診療」	第6回	R8年11月16日(月)	「新生児の生理的特徴と母乳栄養」
	開催日	内容 (予定)																				
第1回	R8年5月25日(月)	「妊婦・授乳婦薬物療法の情報源」 「妊娠と母体の変化、胎児の発育」																				
第2回	R8年6月15日(月)	「先天異常モニタリング」																				
第3回	R8年7月6日(月)	「リウマチ合併妊婦の管理」																				
第4回	R8年9月28日(月)	「妊婦服薬カウンセリングの実際」 「授乳婦服薬カウンセリングの実際」																				
第5回	R8年10月26日(月)	「AYA世代の乳癌診療」																				
第6回	R8年11月16日(月)	「新生児の生理的特徴と母乳栄養」																				
<p>参加費</p>	<p>東京都病院薬剤師会会員 6,500円、非会員 12,500円 (6回分) ※修了証郵送料込み</p>																					
<p>受講確認</p>	<p>入退室のログ+確認試験</p>																					

臨床研究専門薬剤師養成研究会

臨床研究専門薬剤師養成小委員会
委員長 渡部 歌織

臨床研究ははじめの一步

- ☑ 学会発表までに何をすればいいの…?
- ☑ 身近に教えてくれる人がいない…。
- ☑ 研究テーマってどう探す？
- ☑ 私でも臨床研究できますか…?



←こんなお悩み解決します！

この研究会では”臨床研究の始め方”として
テーマの見つけ方～実際に発表するまでを実践的な5つのSTEPで学びます

回数（形式）	内容	開催日
第1回（Web）	研究テーマを発見！～研究テーマの見つけ方～	R8. 6. 4（木）
第2回（集合）	研究計画書を作ろう。～作成のコツを学ぶ～	R8. 7. 16（木）
第3回（集合）	倫理委員会を突破！～ルールを知ってクリアしよう～	R8. 9. 10（木）
第4回（集合）	学会発表に向けて！～統計解析の苦手を克服～	R8. 11. 12（木）
第5回（集合）	研究に着手する。～研究実施にはアレが必要～	R9. 1. 14（木）

- 小規模グループで同じ悩みをもつ仲間と講義やディスカッションを通して学べる研究会です。
- 「学会発表をしたことがない」もしくは「1, 2回だけある」という初学者の方であっても心配不要です。

臨床研究の知識は、「がん薬物療法」「感染制御」「糖尿病」「緩和医療」「褥瘡」「輸液・栄養」などの専門領域における学会発表や症例報告でも活用することができるため、薬剤師としての幅や可能性を広げることができます！「臨床研究のはじめ方」を学び、新たな一步を踏み出しましょう！

目的	学会発表に必要な臨床研究に関する基礎的な知識と技能を習得すること
テーマ	「臨床研究、はじめの一步」
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承と推薦を得られ予定している全ての回に出席できる方 4) Web開催の回は、原則としてカメラ内蔵またはカメラ外付けのPCで参加可能な方 ※過去に受講されたことがある方も再受講可能です。
募集人数	30名
研究会の主な内容・予定	【開催時間】19:00～21:00 【開催方法】集合開催+Web開催（Zoomを使用） ※集合開催の会場は、帝京平成大学中野キャンパス（中野駅から徒歩9分）の予定です。 ※第2回以降は原則として集合開催ですが、遠方にお住まいの方などでweb参加を希望される場合は、備考欄に「第2回以降もWeb参加希望」とご記入ください。
参加費	東京都病院薬剤師会会員 5,000円、非会員 10,000円（5回分）
受講認定	Web…入退室のログ+確認試験／現地…会場での入退室管理+確認試験

高齢者薬物療法領域薬剤師養成研究会

高齢者薬物療法領域薬剤師養成小委員会
委員長 金内 幸子

目的	<p>高齢者の特徴に配慮したより良い薬物療法を実践するための基本的留意事項を学び、処方見直しの基本的な考え方など臨床応用できる知識の修得を目指します。 薬剤師としての専門性を活かした高齢者薬物療法への関わりをともに考えていく場とします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 加齢に伴う生理的な変化、腎機能の変化による薬物動態や薬物反応性についての知識を深める。 2) 多職種が関わる高齢者薬物療法において、薬剤師の役割を考える。 3) 施設間でポリファーマシー対策の関わり方を交流しあい、新たな活動の一步とする。 4) 模擬症例作成と症例検討を通し、症例から学び取る力を養う。 5) 処方見直し、処方提案の実践力を身につける。 			
参加資格	<ol style="list-style-type: none"> 1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承を得られ、予定された研究会4回全てに必ず参加できる方 			
募集人数	32名			
研究会の主な内容	<p>○講義形式：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 高齢者医薬品適正使用指針（ポリファーマシー対策含む） 2) 認知機能評価と服薬管理 3) 身体機能低下・障害の薬学的支援 4) 生理機能・腎機能に基づく処方設計 5) 疾患領域（高齢者のがん化学療法領域、循環器疾患領域、感染症関連）など <p>○ディスカッション：自身で模擬症例を作成し、適正な高齢者薬物療法を考える</p>			
今年度の予定	<p>【開催日時（全4回）】★Zoom配信による開催（3回）。現地開催（1回） 内容に関して、講師との調整により変更もありますので、ご了承ください。</p>			
		開催予定日	開催時間	内容（予定）
	第1回	R8年6月18日（木） Web配信	18：30 ～20：30	・高齢者薬物療法～ポリファーマシーを中心に～ ・急性骨髄性白血病の治療 / DLBCLの治療
	第2回	R8年9月10日（木） Web配信	18：30 ～20：30	・フレイル・サルコペニア・栄養・摂食嚥下障害 関連
	第3回	R8年11月12日（木） 会場：練馬総合病院	18：30 ～21：00	・（仮）循環器領域関連 ・グループにて症例検討
第4回	R9年1月21日（木） Web配信	18：30 ～20：30	・（仮）高齢者感染症関連 ・高齢者への薬物療法、 / 全体症例発表	
参加費	東京都病院薬剤師会会員 5,000円、非会員 9,500円（4回分） ※修了証郵送料込み			
受講確認	Web…入退室のログ+確認試験／現地…会場での入退室管理+確認試験			
その他	<p>第3回のみ集合型開催 ポリファーマシー模擬症例のグループディスカッション予定。 第1回・第2回・第4回 Web配信の講義は、公開講座として別に募集を予定しています。 老年薬学会単位申請の規定変更に伴い、本研究会では老年薬学会の単位付与はありません。</p>			

臨床推論研究会

臨床推論推進小委員会
委員長 添田 博

患者さんの訴えをどのように聴いたらよいかわからない。聴いてはみたものの、そこからどのように考えてよいかわからない。複雑な臨床の不確かさの中で、病棟や外来・在宅へと活躍の場を広げた薬剤師は、様々な場面でそうした状況に遭遇します。そこで必要になる『患者さんの疾病を明らかにし、解決しようとする際の思考過程やその内容』のことを、臨床推論といいます。

臨床推論は、医学領域では、診断から治療までの一連の思考過程の教育に使用されています。臨床の現場では、多職種に参加するカンファレンスなどでも症例プレゼンテーションと併せて患者情報や自分の思考を共有するために使用されたりします。薬剤師が臨床で、医薬品のプロフェッショナルとしての能力を発揮するために、この臨床推論を学ぶ場を設けたのが本研究会です。

臨床推論の考え方には様々な様式がありますが、本研究会では仮説演繹法といわれる方法で、特に患者さんと話すために必要な「病歴」に焦点を当てた学びを提供しています。「病歴」と聞くと誰でも知っているような内容に聞こえるかもしれませんが、その病歴情報を収集したり、活用したりすることは容易ではありません。患者さんに何が起きているのか、どのような情報を聴取すべきなのか、得られた様々な情報をどのようにスタッフと共有するのか。基本的ですが難易度の高いこの内容を、研究会では時間をかけて提供しています。また、そのようにして得た技術を臨床で生かすべく、実践的に症例を用いて考えるセッションも準備しています。なぞ解きをするように、考えることを楽しんでいただけるように準備しております。

本研究会は、臨床推論の基本を知っていただくことを目的とした全5回のコースとなります。委員一同で毎回内容を議論し、終了後には振り返りを実施し、研究会に参加される受講者の先生方に少しでも多くの学びをお持ち帰り頂けるように努めております。ベテランの薬剤師にとっては学び直すきっかけを、これから経験を積む薬剤師にとっては臨床で学ぶことのきっかけをご提供いたします。限られた年5回のコースですが、本コースとは別に公開講座および公開ケースカンファレンスも企画しております。本コースが受講者の方の学びの一助になるよう、委員一同、会員の皆様のご参加をお待ちしております。

募集要項は裏面をご覧ください。

目的	臨床現場における臨床推論の思考プロセスを理解する。			
参加資格	1) 東京都病院薬剤師会の会員 2) 東京都病院薬剤師会非会員（募集人数に達しなかった場合のみ参加可能） 3) 参加について所属長の了承と推薦を得られ、全ての回に出席できる方 ※一度受講された方の申込みはできません。			
募集人数	36名			
研究会の 主な内容	第1回 基礎講座①：推論的思考を学ぶ 第2回 基礎講座②：病歴聴取、疾患の想起と病態生理 第3回 基礎講座③：推論的思考を実践する 第4回 基礎講座④：推論的思考を実践する 第5回 基礎講座⑤：推論的思考を実践する （講義・演習内容が変更になる場合があります。）			
今年度の 予定	（変更になる場合があります）			
		開催日	開催時間	会場
	第1回	2026. 5. 10（日）	12:30～16:00	現地開催
	第2回	2026. 7. 5（日）	12:30～16:00	現地開催
	第3回	2026. 9. 10（木）	18:00～19:30	Web 開催
	第4回	2026. 10. 29（水）	18:00～19:30	Web 開催
第5回	2026. 12. 6（日）	12:30～16:00	現地開催	
参加費	東京都病院薬剤師会会員 8,000円、非会員 16,000円（5回分）			
受講確認	Web…入退室のログ+キーワード登録／現地…会場での入退室管理+キーワード登録			
その他	本コースは… <ul style="list-style-type: none"> 臨床推論の入門編であり、熟達者のためのコースではありません。 現地およびWebでの参加型研修となっております。 Web開催時は、Zoomで画面共有など行うため、パソコン（スマートフォン、iPadなど不可）での受講をお願いします。 開催回によって事前学習課題がある場合があります。 小児への推論の応用を想定していません。 公開講座・公開ケースカンファレンス 本コースとは別に、公開講座および公開ケースカンファレンスを予定しています。			